

8-6-3 CPD委員会

1. 主な活動の記録

(1) CPD 委員会の開催

委員会開催回数：11回

(2) 主な内容

平成30年度の委員会活動は主に、①CPD 監査の実施と監査結果の分析、②CPD 単位・上限値の見直し及び CPD 制度の定着、③協会会員の CPD 取得支援の3点を中心に委員会活動を行った。

a) CPD 監査の実施と監査結果の分析

CPD 記録登録者の1%程度を目途に200名を対象として監査を実施した。CPD 記録登録状況のうち、教育分野別登録状況では専門技術分野が84%を占めており、昨年度の77%よりさらに偏りが大きくなった。教育形態別登録状況については、昨年同様講習会等への参加が32%と最も多く、業務経験が昨年度と比べて6%増加したが、総じて昨年度とほぼ同様の比率を示しており、教育プログラムの選択傾向に大きな変化は見られなかった。

監査における何らかの指摘、修正を要する総指摘数は208（総記録数の9.9%）と昨年度比率の9.4%とほぼ同等であった。また、「削除相当」、「修正相当」の総記録数に占める割合は、それぞれ0.6%、2.8%であり、昨年度の0.9%、3.6%から減少している。これは、新システムの導入から3年が経過し、エビデンスの不備による「修正相当」が大幅に減少するなど、申請記録の登録が概ね適正に行われていると判断できる。

b) CPD 単位・上限値の見直し及び CPD 制度の定着

CPD システムの運用に際し、WEB 講習視聴の拡充及び他団体との整合を図るため単位数の改定を行った。また、CPD 記録登録の形態別の実態を把握・整理し、各形態の内容やバランス、他団体との関係等も含めて CPD 単位・上限値について見直しを行った。

c) 協会会員の CPD 取得支援

協会会員の CPD 取得を支援するため、WEB 等のメディアを活用した活動を行った。今年度は、①道路専門委員会講習会～自動運転社会を見据えた道路インフラの在り方～（2時間0分）②政策・事業評価専門委員会セミナー～ビッグデータを活用した分析・評価の最前線～（2時間20分）③都市計画専門委員会セミナー～防災まちづくりと事前復興まちづくりについて～（3時間10分）④PFI 専門委員会セミナー～拡大するコンセッション～（2時間0分）⑤海岸・海洋専門委員会セミナー～地域の震災復興と持続可能な発展を目指した沿岸域管理～（2時間20分）⑥港湾専門委員会セミナー～港湾の中長期計画 PORT2030～（2時間30分）⑦環境配慮専門委員会セミナー～国土交通省の環境政策と奈良県十津川村における SDGs への取り組み～（1時間50分）の7セミナーについて、協会ホームページ上で視聴できるように WEB 配信を行った。

(3) CPD 記録申請等

① CPD 記録申請者数

平成30年度：139,410人

平成29年度：130,911人

平成28年度：119,353人

② CPD 記録申請件数

平成30年度：388,200件

平成29年度：360,500件

平成28年度：331,600件

③ CPD 証明書発行件数

平成30年度：7,081件

平成29年度：5,845件

平成28年度：5,362件

2. 次年度の活動について

次年度の委員会活動は主に、①「CPD 監査」の実施と監査結果の分析及び CPD 監査の効率化に向けた検討、②CPD 制度、CPD システムの定着、③協会会員の CPD 取得支援の3点を中心に委員会活動を行う。

（CPD委員会委員長 光森 泰紀）